

■著者紹介

辻村 みよ子 (Tsujimura Miyoko)

明治大学専門職大学院法務研究科教授、東北大学名誉教授

東京生まれ。広島大学付属高等学校・一橋大学法学部卒、同大学院博士課程単位修得後、一橋大学助手、成城大学助教授・教授、東北大学大学院法学研究科教授を経て、現職。東北大学ディスティングイッシュド・プロフェッサー、グローバルCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」拠点リーダー、日本学術会議会員、男女共同参画会議員、日本公法学会理事、全国憲法研究会代表、国際憲法学会理事・同日本支部副代表、ジェンダー法学会理事長等を歴任。専門は、憲法学・比較憲法・ジェンダー法学（法学博士）

主な著書

『フランス革命の憲法原理』（日本評論社、1989年）、『「権利」としての選挙権』（勁草書房、1989年）、『人権の普遍性と歴史性』（創文社、1992年）、『市民主権の可能性』（有信堂、2002年）、『ジェンダーと人権』（日本評論社、2008年）、『憲法とジェンダー』（有斐閣、2009年）、『フランス憲法と現代立憲主義の挑戦』（有信堂、2010年）、『憲法から世界を診る』（法律文化社、2011年）、『ポジティイヴ・アクション』（岩波新書、2011年）、『代理母問題を考える』（岩波書店、2012年）、『人権をめぐる十五講』（岩波書店、2013年）、『比較のなかの改憲論』（岩波新書、2014年）、『選挙権と国民主権』（日本評論社、2015年）、『憲法と家族』（日本加除出版、2016年）、『概説 ジェンダーと法（第2版）』（信山社、2016年）、『比較憲法（第3版）』（岩波書店、2018年）、『憲法（第6版）』（日本評論社、2018年）、『最新 憲法資料集』（編著、信山社、2018年）